

入学者に関する受入方針 (アドミッション・ポリシー)

平成24年5月1日現在

【学部】

1 山口県立大学の理念と目的

山口県立大学は、「人間性の尊重」、「生活者の視点の重視」、「地域社会との共生」、「国際化への対応」の4つを教育理念として掲げ、地域における知の拠点として、住民の健康の増進及び個性豊かな地域文化の進展に資する専門の学術を深く教授研究するとともに、高度な知識及び技能を有する人材の育成並びに研究成果の社会への還元による地域貢献活動を積極的に展開し、もって人々が生き生きと暮らす社会の形成に資する人材を育成することを目的としています。

2 本学が求める学生像

本学の4つの教育理念と目的を十分に理解し、幅広い教養と深い専門知識・技能を身に付けて社会への貢献や文化を創造する等の目的意識を明確に持ち、主体的に学ぶ勉学意欲と自らの資質・能力を伸長しようとする熱意と意志をもって努力する人を求めています。

3 学部・学科が求める学生像

(1) 国際文化学部

国際文化学部は、国際文化学科と文化創造学科の2つの学科から構成されています。

近年における急激な国際化の波はボーダーレス社会を生み出し、人々の価値観や生活の仕方に大きな変化をもたらすとともに、地域文化の衰退、危機をもたらしています。国際文化学科では、国際化に積極的に対応できる人材の養成や地域の国際化を推進できる人材の育成を、文化創造学科では、国際化の波の中で変貌を遂げていく地域の文化に焦点を当て、地域を新しい視点から再生、創造できる人材の育成をそれぞれ目指しています。

国際文化学部では、免許や資格の取得だけでなく、国際社会の文化的諸問題の理解や地域のまちづくり、文化づくりなどに果敢に挑戦しようとする元気のある若者を歓迎します。

ア 国際文化学科

国際文化学科は、多文化理解と他文化との交流能力の育成を目的とし、文化や社会の国際化、地域の国際化といった時代の変化や社会のニーズに対応するため、言語コミュニケーション能力や国際的な視点に立った文化理解力、それに基づく行動力などの実践的な能力を備えた人材の育成を目指して、教育と研究を行っています。

したがって、本学科を目指す人は、高等学校において国語、外国語(英語)はもちろんのこと、幅広い基礎的な教科をしっかりと学習しておくことが大切です。

国際文化学科では、次のような能力や意欲、態度を備えている人の入学を歓迎します。

- (ア) 外国の文化やそこで生活している人々から学ぼうとする意志や態度のある人

- (イ) 世界の社会的・文化的諸課題を自分の問題として捉え、その原因や背景を追求しようとする態度や意欲のある人
- (ウ) 新たな外国語を学ぼうとする強い意志と一定の実践的英語コミュニケーション能力のある人
- (エ) 異なった文化を持つ人々との交流に必要な豊かな社会性や適応能力のある人
- (オ) 必要に応じて国内外に出向き、何でも見てやろうという自発的行動力のある人

イ 文化創造学科

文化創造学科は、自文化を深く理解する能力及び地域の特性（地域の文化・歴史）を尊重した新しい地域文化や生活文化の創造に資する能力の育成を目的とし、国際的視野から地域の歴史や文化を理解・再評価する能力とともに、地域から新しい文化を発掘・創造・発信するための課題発見能力や企画提案能力等を備えた人材の育成を目指して、教育と研究を行っています。

したがって、本学科を目指す人は、高等学校において国語、外国語（英語）はもちろんのこと、幅広い基礎的な教科をしっかりと学習しておくことが大切です。

文化創造学科では、次のような能力や意欲、態度を備えている人の入学を歓迎します。

- (ア) 日本及び自分が生活する地域の歴史・文化に強い興味と関心を持つ人
- (イ) 地域の歴史や文化を国際的視点から深く学ぼうとする意欲や意志のある人
- (ウ) 言葉や絵、デザインなどの表現やそれに基づく具体的なものづくりなどを通して、地域の生活文化を再生・創造しようという能力や熱意のある人
- (エ) 地域の多様な人々との交流に必要な豊かな社会性や人間関係力を備えた人
- (オ) 必要に応じて国内外に出向き、何でも見てやろうという自発的な行動力のある人

(2) 社会福祉学部社会福祉学科

社会福祉学部は、社会福祉学科の1学科で構成されています。

社会福祉学科は、多様化・複雑化する福祉ニーズに対応し、地域社会の幅広い分野で福祉の向上に寄与できる人材の育成を目指して、福祉にかかわる理論的・実践的な教育と研究を行っています。社会福祉実践の基礎には他者との相互理解が必要であり、そのために深い知識と幅広い視野が求められます。

したがって、本学科を目指す人は、高等学校において国語、外国語（英語）といったコミュニケーションの基礎となる科目はもちろんのこと、幅広い基礎的な教科をしっかりと学習しておくことが大切です。

社会福祉学科では、次のような学力や意欲、態度などを備えた人を歓迎します。

- (ア) 福祉の理論を幅広く理解する基礎的学力のある人
- (イ) 福祉を実践する能力の基礎としての他者への共感性や思いやりの態度を備えた人
- (ウ) ボランティア活動などの社会的活動に強い意欲や熱意のある人
- (エ) 活力ある福祉社会の実現を求めて、ともに語らい、ともに学び、ともに行動できる人

(3) 看護栄養学部

看護栄養学部は、看護学科と栄養学科の2つの学科から構成されています。

看護分野では、健康問題に直面する人々を身体的、精神的、社会的に評価し、自立していけるように専門的角度から支援を行い、栄養分野では、栄養状態を把握し、望ましい食行動を選択し、実践できるように専門的角度から支援を行いますが、いずれの分野においても「疾病」だけをみるのではなく「人」と「人を取り巻く環境」を包括的に捉え、問題解決を図る「ヒューマンケア」の視点を持つことが強く求められています。

看護栄養学部では、以上の基本的な認識に立ち、「看護、栄養の専門職に期待される知識、技術、態度を身につけ、人間尊重の精神と地域の生活者の視点を重視し、地域の人々の健康増進、疾病予防、療養上の支援のために協働できる人材の育成」を目指しています。

ア 看護学科

看護学科では、社会の変化に伴う看護ニーズを認識し、社会のさまざまな分野において、看護に期待される専門的機能を発揮することのできる能力を養い、人々の健康と福祉の向上に寄与できる人材の育成を目指して、一人ひとりの学生を大切にしたい、きめ細かな教育と研究を行っています。

看護は人と関わる学問、仕事なので対人関係能力が大切になります。また、高校での学習では理科特に化学と生物に関する基礎的な知識及び考え方について理解できていると入学後もスムーズに看護学科での学習を進めて行くことができます。

したがって、看護学科では、次のような能力や意欲、態度を持つ人を求めています。

- (ア) 人への深い関心を持ち、人と関わるのが好きな人
- (イ) 看護学を学ぶために必要な幅広い基礎学力のある人
- (ウ) 専門の勉学に強い意欲を持ち、目標を定めて、前向きに努力できる人
- (エ) 看護職に強く求められている、社会性、協調性、柔軟性、責任感のある人
- (オ) 将来、専門的な知識・技術を生かし、人々の健康や福祉のために貢献したいという熱意のある人

イ 栄養学科

栄養学科は、人々の健康を保持・増進し、豊かな生活を実現するために、一人ひとりの身体状況や栄養状態に応じた支援と活動が、栄養学及び関連する諸科学を踏まえて実践できる管理栄養士を養成しています。

そのため、栄養学科では、次のような能力や意欲、態度を持つ人を求めています。

- (ア) 高等学校で基本とされる教科を幅広く学び修得し、理科特に化学と生物の知識を十分に有している人
- (イ) 現代社会における様々な問題に対して多面的に考察し、自分の意見をまとめることができる人
- (ウ) 「食と健康」に興味関心を持ち、身につけた知識・技能を福祉社会の創出のために役立てたいと考えている人
- (エ) 課題の内容を理解し、求められた説明や自分の意見を論理的に組み立て、分かりやすく伝えることができる人

【大学院】

国際文化学研究科国際文化学専攻（修士課程）

国際文化学研究科国際文化学専攻（修士課程）は、人間を尊重し、社会の国際化に対応できる能力とともに、生活者の視点に立って、地域の歴史・文化を新たに発掘・創造できる能力を備えた人材の育成を目標としています。

そのため、本研究科（修士課程）では、次のような意欲・関心及び能力を持っている方を歓迎します。

- (1) 文化の多様性や共存への理解と、文化の交流・創造を図ろうとする意欲及び能力
- (2) グローバルな感覚と異文化への深い関心
- (3) ローカルな歴史・文化を尊重し、そこから学ぼうとする精神

健康福祉学研究科健康福祉学専攻（博士前期課程）

健康福祉学研究科健康福祉学専攻（博士前期課程）は、健康福祉に関する地域の諸問題に対応できる高度の専門知識・技術と実践能力を備えた人材の育成を目指して、教育・研究を進めています。

したがって、本研究科（博士前期課程）で学ぼうとする方には、次のことが望まれます。

- (1) 健康、福祉、看護、栄養のいずれかの分野の研究に熱意を持っていること
- (2) その分野の基礎知識を身につけていること
- (3) 問題意識を持って研究課題に自ら進んで計画的・積極的に取り組むこと

健康福祉学研究科健康福祉学専攻（博士後期課程）

健康福祉学研究科健康福祉学専攻（博士後期課程）は、地域社会で生活する人々が生涯を通じて社会的・身体的・精神的に健康な生活を継続し、生命と生活の質の向上を図ることについて支援できるよう、高度な専門知識と研究分析能力を備えた研究者・教育者の育成を目指しています。

したがって、本研究科博士後期課程では、社会福祉・看護・栄養の各領域を総合した健康福祉学の視点に立って問題意識を持ち、その課題に対し創造性豊かな実践的介入を目指す意欲と熱意を持っている方を歓迎します。

【別科】

別科助産専攻

- (1) 人の生命や健康に関心を持ち、地域の母子保健や周産期医療の向上、女性の健康の保持増進に貢献したいという強い意思を持つ者
- (2) 良好で円滑な対人援助を行える能力のある者
- (3) 協調性、責任感があり、自立・自律したパーソナリティを持つ者
- (4) 助産師免許取得後は山口県における母子保健医療現場に従事する意思を持つ者